こすど公民館報

発行所　小須戸町公民館
発行人　問野良知
発行日　毎月15日
一部15円
印刷所　昭栄堂印刷所

海外に青年の目を!!

青年の船でハバロフスクへ

新潟県青年団では「第二回、新潟県青年の船」を派遣し、ソ連ハバロフスクの青少年と交流を深め、またソ連の青少年と友好親善をはかります。（きたる八月三十日より九月七日まで）当町からも四名の青少年が参加をしますので、その希望と抱負を語ってもらいました。

国際的視野を広げるために

五十嵐　力

このたび、県連青主催の「青年の船」でハバロフスクへ行くことになりました。このことにつきまして、私は小須戸連青の一員として「青年の船」の概要、すなわち船上研修会での内容、ハバロフスク市内の状況及びハバロフスク青年とのゞ流により、彼らの人間性とかイメージ的なこと等いろいろな面で、一つの大きな経験を得て来たいと思います。そして皆さんにご報告したいと考えています。

「青年の船」の目的といいますと、今回約百七十名の参加がありますが、その中で個人のあり方を学ぶ、いわゆる団体行動を通じて、規律ある生活を身に付けるとか、ソ連の青少年との親善ゞ流あるいは国際的視野を広めるとか、いろいろの目的がありますが、それはひとロにいって我々青年自身の生活を高める、ということにつながるのだと思います。しかし、それに該当する人は「青年の船」に行った人だけで

西瓜（すいか）

俱里林

広い畑　青い空　青い葉
赤い太陽の下で
小さいピンポンの玉のような
かわいいすいか……
雨にたえ　風にたえ　嵐にたえ
大きくなった　すいか　すいか
すいか
こどもたちの楽しい顔・顔
かわいい声の聞こえる家の中で
ばり、ばりと切られた
赤い大きなすいか

暑中お見舞い申し上げます

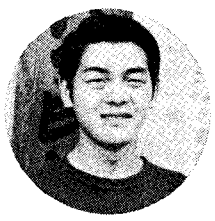
小須戸町長　五十嵐重雄
町議会議長　高山　三治
東京小須戸会　長谷川邦芳
新潟小須戸会　田中堅太郎
小須戸町教育委員会

他の人々には、何の変わりもないというかも知れませんが、そのためにも帰りましたおり、報告会をやりまして、くわしい話しをやりたいと考えています。

簡単にいいまして、今回の「青年の船」につきましては、参加することに目的があり、報告会をすることにより、成果があると思っています。ですから参加しなければ何も得らないわけですし何の発展もないわけです今回、連青より四名の参加があるわけですが、今後の青年会活動を通じて参考になったことは、多いに役立ててゆきたいと思います。元気で行って来たいと思います。今後とも青年団活動にご指導頂きたいと思います。

規律ある生活を身に付ける

丸山政弘



規律ある団体行動を通じて、身心を鍛えると共に、ソ連の青少年との友好親善をより深めるために、県連青により昨年から企画された県青年の船に私も青年団の一員として、他の三名と共に参加することになりました。

八月三十日出港、十日あまりの短かい日程ですが、同行の百七十名の仲間達との船上研修会、ハバロフスク青年団との交歓会等の行事もおりこまれております。私達と同じ年代のソ連の青年達が何を考え、どういう生活を送っているのか、また新潟市と姉妹都市であるハバロフスクとは、どういう町なのかこの目で見実際に体験できることは大変すばらしい経験であろうと思います。

小須戸町連青からは四名が参加するわけですが一人一人感じることはちがうと思いますが、この体験をもとにこれからの青年会活動を行ってゆくうえにおいて、大きなプラスになると思います。

ハバロフスクの青年と交歓研修をしてきたことを土台として、これからの青年団活動に、どのように生かし、どのように意義づけてゆくか私たち青年にあたえられた課題だと思います。元気で行って来ます。

外国の若者とも学びあう

井上祐一

私たちは、このたび八月三十日より九月七日までの九日間、ソビエト連邦共和国ハバロフスク方面に、連合青年団主催の海外親善研修旅行に参加することになりました。

なにをするにも、すべてはじめてで、どんな考えを持ち、なにをすればよいのか、わからないのが現状です。ソビエトとはどんな国かは今までの自分なりの知識、マスコミで少しはしっているようでもあり、しらないようでもあります。でも、この機会に、ソビエトとはこのような国だと誰に聞かれても話せるようになって来ることと思います

なにしろ国の自然の姿、若者の考え、様子を団体個人といった異国人との人間と人間との話し合いの交流の場を、ありのまま自分の手でつかみ取ることができるのです。考えただけでも気持ちがうきうきします。また私はソビエトに行くにあたりコースがたいへん気に入りました。まず第一に一昼夜船の旅　第二にシベリア鉄道に乗られることだと思います。私は国の様子を一番早くわかるものは、やはり交通機関の発達、特に鉄道にあると思います。そんなわけで一日一日が楽しくてなりません。最後に私たちが行くにあたり、皆様方から

農業大国をこの目で!!

駒口和雄

私たち青年団員四名はソ連のハバロフスクに、「県青年の船」で参加をしてきます。

私は、ソ連という国はどんな国かは想像もつかないが、ソ連は社会主義国であり、農業大国でもある。私はソ連の農業はどのようになっているのか　政治は　経済はどのようになっているか、日本の国とどのようにちがうか、勉強してきたいと思います。

私は特に農業問題についてソ連の農業がどんなことをやっているか、団地化が農業生産をあげているのか、一番よい生産の方法は、どのように盛んにしたらよいか　機械の使い方はどうか　広い大陸だからトラクターがどのように効率的に利用されているか、化学肥料の使い方が非常に少ないとか、だから日本でも化学肥料を少なくしてゆくようにかんがえてゆくことではないだろうか。

これから自分自身を鍛えたいことは、ソ連の若き青年との交換研修において、一人一人の言葉が通じなくても、ソ連の青年が何をやりたいか、心と心で知ることができると思い、私は大きな期待をこめ、ソ連の言葉も覚えてきたいと思います。

九日間の旅を、楽しくまた青年時代の勉強にしたいと思います。

暑中お見舞い申し上げます

小須戸町長　五十嵐重雄
町議会議長　高山　三治
東京小須戸会　長谷川邦芳
新潟小須戸会　田中堅太郎
小須戸町教育委員会

夏休み学習教室

二・三番町の子どもたち

学校をはなれた子ども達のために、新しいこころみとして学習教室が開かれております。

二番町・三番町のPTAの方々が町内の小・中学生とも話しあって開いたのでありますが、楽しくいきいきとした運営がされております。

単に休み中の学習を盛りたてるというねらいだけでなく、これを通してよい友だちつくりや、家庭や社会における正しい生活のしかた、遊びの面にまで、目に見えないいろいろな効果が期待されます。そしてこれが地域の子ども会組織にまで発展して、年間を通しての活動が行われるようになったら、すばらしいことと思います。

二番町
・日　毎週火曜日
・場所　商工会館
・人員　小・中学生二一名

三番町
・日　毎週水曜日
・場所　協栄信用組合
・人員　小・中学生二二名

指導者は両教室とも公民館の浅岡先生と、PTAの有志の方が当られております。

御寄贈ありがとうございました

・鉄骨製二段盆栽棚　矢代田保科鉄工所殿
花とみどりを育てる会で矢代田駅備え付け用として使用されております
・新刊図書三冊
新潟　加藤国一郎殿
わが人生わが事業　倉本初夫著
矢と歌　太田俊雄著
続矢と歌　〃
御芳志ほんとうにありがとうございました。

ら支援ご協力をいただきましたことは喜びにたえません。たいへんありがとうございました。

長寿大学案内

八月後半／九月前半
八　月
一八日　書道クラブ
二〇日　民謡舞踊クラブ
二八日　家庭科クラブ
三〇日　全体学習
九　月
一日　囲碁将棋クラブ
三日　園芸クラブ
一一日　家庭科クラブ
未定　民謡舞踊クラブ
二日　書道クラブ
一六日　書道クラブ

八月三十日の全体学習は講師吉川シズ先生（現在新潟市教育委員会指導主事）小・中・高校における実践を通しての人間の真髄をえぐるお話しをお聞きできると思います多数のおいでをお待ちしております。

続小須戸風土記

潟（カタ）の変遷（二）

柏大治

「私達　年来このことを考えていましたので　開墾お許し頂だければ誠にありがたく、何分この儀お願い申し上げます」という趣旨で、水原御役所へ絵図まで付けて願いでました。

新発田藩も頸をかしげて調査にかかりました。そんなに駄農や減田をしているわけがないと、関係の村々の代表者を呼んで調べました。これに対して小須戸郷の関係者は次のように申し上げています。このたび今泉村庄屋吉兵衛、水原村百姓宗右ヱ門より鎌倉潟、竜玄潟、若宮潟を新開の願書に絵図面まで提出されていますが、第　竜玄潟などはございません。

だいたい潟の町数百五十町余りなどとは、とんでもない間違いでございます、と反発した。

昔はともかくも現在では鎌倉潟一カ処、大日潟一カ処、頭無潟　長戸呂潟、若宮潟の三つの潟は続いていて名称は三つになっているが、一潟になっております。

これらの潟の草生全体としても弐拾町余で、願人のいっていることとは大変相違しているのであります。私ども関係村々は古田系潟田でございまして、潟の窪地になっております。もし開拓でもされれば古田の水吸落（水すいおとし）用水もなく、古田の潤い（ウルオイ）もたいへん困りますので、ぜひ水溜りとして従来通りお認め願います関係村々から実情を申し上げます、と金津村では右の潟の内、若宮潟　長戸呂潟と申しまして町数は七町七反余でございまして、金津村と竜玄新田は田が入り会っております。先年より竜玄新田とこの潟を半々にわけて使用しております。雨村の大切な潟で草生の場所は野直銭（地金）として一段歩につき百文づつ上納しております。また水溜の場所は一段歩について二拾文づつ納めております　私達村々の田は潟のへりで、古田一帯窪地田で天水地で水引入もできません、そのために水溜めにして頂きたく、新開されましては作付けもできません。しかも上馬の草刈等もできませんのでこのたびの潟の一件で大変迷惑しています。古津村では潟の地内ではございませんが、若宮潟のへりの古田の地で、もし潟が無くなれば古田の水吸落なり、早場米も出来ませんので、なにぶん開拓など許可にならぬよう願い上げます。（続く）

花とみどりで飾られた町の玄関〝矢代田駅〟

花と緑を育てる会矢代田駅支部では、五月十二日に協議会を開催し、駅美化についていろいろご協議頂きました。その後矢代田の小林勝氏から、立派な松を五本ホームに植えて頂き、更に鵜出古木の園芸組合からはホームにある二カ所の花壇にたくさんの「さつき」を植えて頂さました。松や「さつき」が立派に育ったときの矢代田駅ホームの美しさが目に浮かんでまいります。

また駅事務室前のホームには保科鉄工所から立派な鉄製植木陳列棚を御寄贈頂いております。この陳列棚には園芸クラブ会員の皆様から見事な盆栽を陳列して頂いております。列車に乗り降りする人々の目を楽ませるばかりでなく、車窓のお客様も目を見張って眺めています。これからは秋の菊、春には、町の木「つつじ」「さつき」があります。

花木盆栽の生産地小須戸町にふさわしく、皆様からいろいろと陳列して頂くのを、お待ちしています。

最後に、松・さつきの植付けにあたり、用土の手配から除草まで、いろいろと労力の奉仕を頂きました地元の皆様に厚くお礼を申し上げます。

（矢代田駅長）

……

花とみどりを育てる会では、こうしたおしごとには進んでお手伝いすることになっております。

今のところ矢代田駅の外、老人憩いの家の花壇矢代田小学校、更に竜玄婦人会の皆さんによる舗装道路にそった花いっぱいの事業等にご協力いたしました。

保育園裏の育苗圃場、渡辺平七さんのご好意による育苗圃等に、たくさん苗が育っております。ご希望の向は、どうぞお申し出て（申込みは町公民館）ください。（幹事）

なぎさ

通称を「公民館」で

社会教育センターの呼び名

新しい社会教育の殿堂が、来年六月頃までに完成予定との前号記事を見て、本当にうれしく思いました。しかも近代的デラックスな冷暖房つき建物で、内部施設も十分に備わるとのこと、これを活用することによって、町の社会教育が飛躍的な発展をとげることが期待されます。

ところで、その名称が「社会教育センター」ということに町条例で決まったことには いささか抵抗を感じないわけにはいきません。いかにも官制的な感じで私達には親しめないのです。二十余年来呼びなれた公民館がなぜいけないのでしょうか。

そもそも公民館そのものが、地域における社会教育の総合センターであるということは、一つの定義としても、はっきり言われてきたところなのです。

図書館や美術館、博物館も含まれるからということもありましょうが、地方小都市では当然それは公民館に含まれてよいのではないでしょうか。

町には給食センターもあり、何かまぎらわしい感もします。

公式の場合は「社会教育センター」でも什方がありませんが、通称をわたくし達の親しみふかい「公民館」で通させてほしいものであります。

（一青年団OB）

〝善行二題〟

小中学校へ手縫いの雑巾を 92才のおばあちゃん

七月十七日、一番町の島倉ツヨさん（九二才）が小、中学校に丹精こめてつくられた手縫いの雑布百枚ずつを寄贈されました。長年の間に培われた縫い跡の正確さ、きちんと重ねられた百枚の雑巾は、職員はもちろん生徒の間にも大きな感銘を与えました。

無私に基づく奉仕、善意に感謝すると共に厚くお礼申しあげます。

人命救助のお礼を寄附

七月の末日 信濃川（雁巻）で、一婦人が転落し溺れるという事故がありました。

折から現場付近を社用で通行中の新潟市の渡辺清さん、加藤弘毅さんが発見、着衣のまま飛び込んで救助してくださいました。危い命を助けていただいた婦人家族は、せめてもの感謝のしるしと金一封を差上げましたがお二人はその真意だけを頂くとして、お金は消防署小須戸分署へご寄附になりました。

感激した署では救急施設整備に有効に使用させていただくことにしております。

栄ある知事表彰

永年無事故で

上稲荷町　黒井関三郎さん

去る七月十日は新潟県が交通安全の県宣言から十二周年目にあたりますので、その記念式典が新潟市の県民会館で盛大に行われました。

席上、優良運転者、団体事業所、学校など交通事故防止に多大の貢献のあった方がたが県知事から表彰され、それぞれ記念品が授与されました。

小須戸町からも優良運転者の部で、黒井関三郎さんが永年（二十五年以上）無事故、無違反の優良運転者の代表として県知事から表彰を受けられました。

表彰を受けられた黒井さんは、この日の感激を「いままでは県知事から表彰されるなんて夢にも考えませんでした。ただひたすらに安全運転、無事故運転のみを念頭において過去四十年間運転に従事してきましたが、これも皆さんのお蔭です。これからも一人一人が協力して、交通事故にあわないよう微力をつくします」と、語っておられました。

分館だより

新保分館から

・料理講習会

さる七月二十一日婦人会が中心になって、栄養料理の勉強をしました。受講者約四〇名で、講師は次の方々です。

簑和キイ　高山タイ
川瀬ヨシコ　丸山フサ
（敬称略）

なお青年団女子部でも毎月一回、同講師によって学習をしております。

新築・改築には電話配管も

このごろ新築や改築のため電話機の移転や増設のお申込みが急に多くなりました。

建築プランをたてるとき、お宅の電話機の置き場所をチェックして「電話機の配管」もお考えください。壁や床に埋めこむため建築の附帯工事として、あらかじめ設備していただくことになります。各部屋に今は必要でなくとも将来のことをお考えになって、配管設備だけは必ずお含みください。

電話機の配管がないと出来あがった新しい壁に穴をあけたり、壁や柱などにキズが付くこともあります。くわしいことは小須戸電報電話局へおたずねください。

小須戸電報電話局

中体連 三市中蒲大会 終わる

・郡大会

卓球（団体）
男子一位
女子一位

卓球（個人）
男子一位　佐藤幹生
二位　新木　透
三位　丸山　賢
女子一位　上田良子
二位　岡田智子

野球一位
排球四位
庭球（団体）
男子一位
女子二位
（個人）
男子三位　久保田博
保科正輝
三位　田巻義昭
高橋　豊
女子一位　上脇悦子
坂井美代
二位　簑和由紀美
村山悦子

・三市中蒲大会

卓球（団体）
男子三位
女子三位

柔道（個人）
軽量級三位　阿部一男
中量級三位　徳永　誠

剣道（団体）
女子一位
（個人）
男子三位　中山利之
女子二位　高山智子

体操女子　四位

庭球（団体）
男子一位
女子二位
（個人）
女子三位　吉見佳代子
山崎真理子

佐渡

出雲町　我妻清作

ただひとりしみじみと見る野仏のめぐりに
咲けるかんぞらの花

私の趣味（その五）

自然木と取組んで

横町　鈴木勇吉さん

いやはや驚くばかり、床の間から縁側入口まで所せましと置かれた自然木の花台や飾り物……その上、天井からも幾つかがぶら下っている。

そのまんな中のわずかな空間に、どっしりと座った鈴木勇吉さん（六八才）は、いかにも幸せそのものといった姿である。

横町、鈴木板金店のご主人といっても、家業の方はすっかり若手にまかせてしまって、今のところ全くこの道一すじに、老後の生きがいをかけておられる方である。

「さあ、いつごろからといわれても、はっきりはしないが、まあ青年時代からこんなことが好きでしたね。よそでちょっと珍らしい根っ子などが見つかると頂いてきて、こつこつと磨いては楽しんだものです。

最近はブームというかずいぶんと仲間がふえましたよ」という。

それにしても大したもの、数にしてどれ位かお聞きすれば、

「数えたこともないが、百ぐらいあるんじゃないですか。銀行や料理屋さん、その他好きな方にお貸ししてあるのもいくつかあります」とこともなげにいわれる。家の裏の空地には各地から集めた原木がこれまた山と積まれているのである。

「一つ磨いて完成するのに大体十日から一カ月位かかります。その間は全く無心の境地になりきるので、ちょっとした精神修養にもなります。

さあ最も苦心するところですか……。それはなんといっても原木さがしですね。良いのが見つかった時のうれしさなど、とても言葉で言いあらわせませんよ」と相ごうをくずされる。

自然木との関連で、盆栽や壺　鉢などの骨とう品のコレクションも相当なものである。

先年来　同好の人達十六人で「銘木会」というグループをつくり、現在その会長をつとめておられるが、文化祭に展示されて呼びものの一つになっていることは皆さんご承知の通りである。

今後更に同好の人達をふやして、多くの銘品を製作されるよう、心より祈り申しあげたい。

× ×

八月句会報

小須戸町俳句同好会

糊固き衿を合わせて夕涼み　芳人
開け放つハウスを飛燕筒抜けし　虚秋
畑の草伸びほうだいに梅雨長し　香月
梅雨明けや祠をめぐる草の丈　良遊
梅雨の通夜頑是なき児のはしゃぎけり　松山
繰り返し読む新句集明易き　碧水
病む友の窓ほの暗し半夏生　ひさ
応接の話つつぬけ夏暖簾　喜作
常の皿常の盃冷奴　幸司
垣根越し話す気安さ梅雨の晴れ　紫江
長き梅雨幼穂形成はや二ミリ　太浪

こどもクイズ

さあ！考えて？

つぎの問題の□の中に答えを書いて公民館へ。答え・住所・氏名・学年クラスをはっきり書いてハガキで送って下さい。正解者の中から五名の方に賞品をお贈りします。

一問　コオロギは□で音を出します

二問　セミのオス・メス鳴くのは□□

三問　ホタルは何科のこん虫ですか
□□□科

前号の正解は
一問　七・八　二問　青
三問　ウシ

抽選の結果、次の方々へ賞品をお贈りしました。

東町　しみずまゆみ一年
天ケ沢　阿達かおる　二年
新町　風間美和子　四年
〃　阿達　昇　五年
〃　山口良子　六年

購入図書

◇ケッタイな対談　藤本義一
◇銭の城　白石一郎
◇星のふる里　森村誠一
◇告訴せず　松本清張
◇遥かなる母へ　ルック社
◇色即是色　高田好胤
◇指輪の爪あと　リンク
◇母子変客　上有吉佐和子
◇愛　御木徳近
◇深夜の自画像　五木寛之
◇マツハの恐怖　柳田邦男
◇愛と死の船跡　井口泰子
◇カポネ下　ジョン・コブラー
◇影は見ていた　笹沢佐保